

# 道教大5教授会統合へ

## 新年度 改革の迅速化狙う

北海道教育大(本間謙 学長)が新年度から、道内5校それぞれに置かれている教授会を廃止し統合する方向で検討していることが16日、分かった。少子化で教員養成のニーズが狭まりつつある中、大学改革を迅速に進めるためには組織の一本化が必要と判断した。

教授会再編案によると、各校ごとの五つの教授会を廃止し①「学部教授会」②「大学院所属教員による「研究科教授会」」の二つに統合する。4月から実施の予定。

背景には学長のリーダーシップ強化を狙った改正学部や研究機関ごとに教授会がある。改正学校教育法は「大学に、教授会を置く」と規定し、審議事項を「学生の入学や卒業に関する審査」や「学位授与など4項目に限定。学長のリーダーシップを確立させ、教授会の権限を抑えていく。

## 「学長に権限集中」教授反発

道教大が5校それぞれの教授会を廃止し、統合するのを機に、各校教授会再編案に、学内の一部がらも、「キャンパス長」(各校担当副学長)も、学長の

る。

教授会に代わり、各校には「教員会議」を新設。またこれまで5校ごとの教授会での選任に基づき決定していた「キャンパス長」(各校担当副学長)も、学長の

一任となる見込みだ。改革

とが難しく、1989年に案は19日、各校代表者らが集う「教育研究評議会」で審議され、3月中に正式決定する見通し。同大は教育学部のみで札幌、函館、旭川、釧路、岩見沢の5校からなる。以前は一つの教授会だったが、全道から集まるこ

教授会に分かれた。大学の教授会は学部別などで複数置かれているケースが多い。道教大と同じく教育学部のみの大学では、大阪教育大は3教授会、東京学芸大は4教授会が置かれている。

教授会 学部・研究科などに置かれる機関で、教授以外に准教授やその他職員を加えることができる。学部ごとに教授会が設けられているのが一般的で、北大は12学部や研究機関ごとに教授会がある。改正学校教育法は「大学に、教授会を置く」と規定し、審議事項を「学生の入学や卒業に関する審査」や「学位授与など4項目に限定。学長のリーダーシップを確立させ、教授会の権限を抑えていく。

道教大が5校それぞれの教授会を廃止し、統合するのを機に、各校教授会再編案に、学内の一部がらも、「キャンパス長」(各校担当副学長)も、学長の

距離は東京・大阪間に匹敵、広い北海道にキャンパスが点在しており、教授会開催頻度の激減は避けられねらいもあることから、同大の場合、函館・釧路の

つており、各校で話し合うべき内容が多い」などと異論が噴出。現行体制の維持を望む声が根強い。そもそも、道教大では大学側と教授陣との対立関係は根深い。

学長選考では2011年、理事らで構成する学長選考会議が、教職員による「意向投票」で次点だった「意向投票」がこれを不服として提訴。昨年10月には、次回学長選考での意向投票廃止を決め、「大学の自治」する意見もある。

が空洞化すると教職員から反発が上がっていた。

これらの延長線上に教授会の再編をとらえる関係者も多く、「さらに学長色が強まる」と懸念する。

一方、一般的に大学の教授会に対しても、学内の縦割り体制を強めたり、意思決定までに時間がかかることが指摘されているだけに、「大学同士の競争が激化する中、トップダウンによるスピーディーな改革が進むのでは」と期待する意見もある。